

姫川で見られる植物群落と植物（植物図鑑）

群落名 かいひんせい 海浜性草地



海岸の砂浜に見られる草花の、ハマヒルガオ、コウボウムギ、コウボウシバ、ハマエンドウなどによってつくられる草地です。姫川の左岸（青海町）の、河口のあたりの砂浜にみられます。

種名 コウボウムギ



北海道から九州に分布しています。海岸の砂浜に、普通に見られる草で、地下にはかたい茎があって、褐色の繊維におおわれています。花は、4～6月頃に咲きます。河口のあたりの、海側の砂浜に見られます。コウボウシバほど多くありません。

種名 ハマエンドウ



北海道から九州に分布しています。海岸（まれに湖岸）の砂浜に生える草で、紅紫色の花を4～7月頃につけます。姫川の左岸の、海側の砂浜に見られます。

種名 コウボウシバ



北海道から琉球にまで分布しています。海岸の砂浜に普通に見られる、丈の低い草で、長い地下茎があります。花は、6～7月に咲きます。河口のあたりや、海岸の砂浜にたくさん見られます。

種名 ハマヒルガオ



北海道から九州に分布しています。海岸の砂地に生える草で、茎はつるのようで、長く張っていて、ほかのものに巻きつくことがあります。花は、5～6月頃に咲きます。河口のあたりたくさん見られますが、河口から4～5kmのあたりの、堤防の斜面にも生えています。

群落名 ニセアカシア林



ニセアカシア類だけが大部分を占め、混じて生えている植物はほとんど見られません。以前は、河口から11kmあたりまでによく見られましたが、洪水後は少なくなりました。現在では、虫川が合流するあたりと、アザキリ沢のあたりに大きな林があります。